

リバースサーキュレーション
ドリル拡底工法
NMR工法
(エヌエムアール)

評定番号BCJ-F683

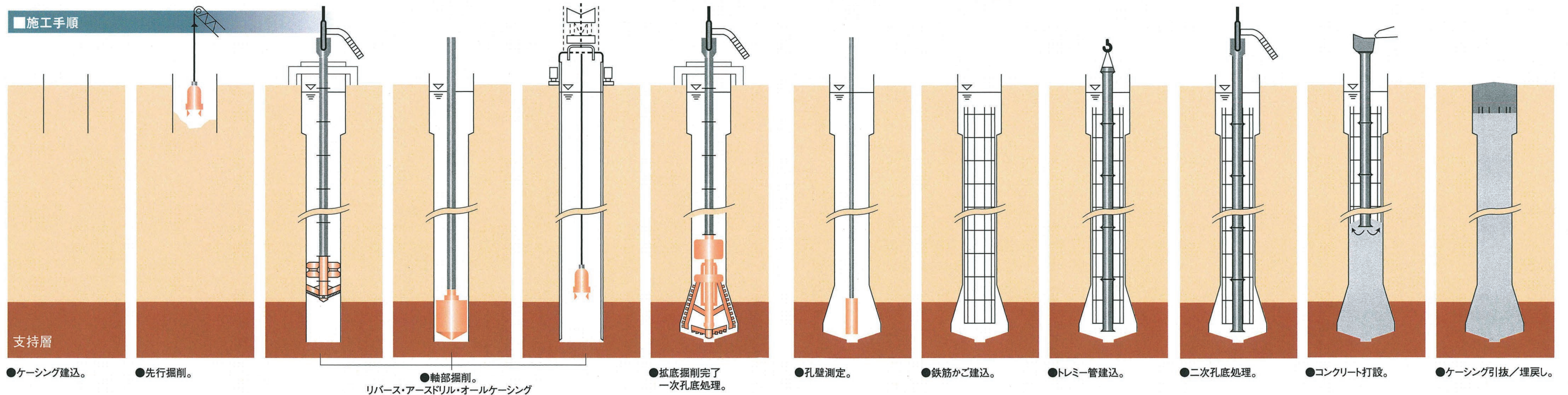
■工法説明

NMR工法とは、リバースサーキュレーションドリル拡底工法である。軸部をリバースサーキュレーションドリル工法、アースドリル工法、オールケーシング工法にて掘削した後、底部を円錐台形上に拡大掘削を行い、鉄筋籠の建込みコンクリート打設を行い現場にて杭を築造する。

■工法の特長

1. 先端支持力が約2倍以上になる。
2. 掘削土量、コンクリート量を1/2以下に減少できる。
3. 工期の短縮、工事費の節約ができる。
4. 負の摩擦力が軽減される。
5. 杭の引抜き耐力が増大される。
6. 軸部掘削はリバース、オールケーシング、アースドリルの各工法いづれも施工が可能である。

■施工手順



■NMR掘削機の特長

1. 拡底方式は、油圧式による下開き方式です。
2. 拡翼機構が堅固で簡単な構造であり、故障が少ない。
3. 拡底掘削の開始と完了の確認は、拡底検出装置により確実に行える。
4. 4枚の拡翼ビットで拡大掘削を行うため、拡底部壁面を均一に掘削できる。

